

2022 年秋学期/ニューヨーク州立大学オルバニー校 帰国生アンケート

※注意※ ここで記載されているアンケート回答は**全て個人の主観によるもの**であり、あくまで『参考情報』としてみなさんに開示しています。**正しい情報とは限りません**ので、その点について了承した上で留学準備に活用してください。

1. 授業について

授業の形態や進め方はどんなものでしたか。

ディスカッション中心に授業が行われたため、積極的な発言が求められた。

4技能に関する授業で、2技能が一コマで2コマ、プラス選択授業(選択できない)があります。日によりますが、授業が二時間以上あります。そのうち慣れます。基本、随時ある大きな課題に向かって授業する形。ライティングエッセイ、プレゼン、リスニングテスト等。

授業はすべて体面で月曜～金曜までありました。教科書か、ハンドアウトを使いながら、長文、文法、単語、リスニングなどを行いました。他にもエッセイ、プレゼンの課題も出ました。

現地の大学の授業を受けるための準備をするのには良いカリキュラムだと思った。

Reading.Writing/Listening.Speaking/Elective の三つの授業があった。読解のクラスは課題で文章を読んでおき授業内で議論しあう、問題を解くといった形式だった。スピーキングのクラスは、日本と同様教科書のチャプターを進めたり、プレゼンテーションを行った。唯一英語を用いて英語以外を学ぶ選択クラスでは、SDGsやビジネスについて学び、プレゼンテーションを行った。

主に学校の指示で購入した教科書に沿った授業で、PC は家でレポートを書くときやプレゼンの準備の時にしか使わなかった。テストも対面の筆記形式で行われた。メモは各自教科書に直接書くか、それが嫌な生徒は持参したノートにメモしていた。

授業はリーディング、リスニング、SDGsの3つのクラスがありました。エッセイの課題やプレゼンテーションが多いですが自分はプレゼンテーションが自分の意見を発表できる良い機会なのでとても楽しかったです。プレゼンテーションのトピックは主に社会問題について述べるものが多かったです。例えば自分は社会問題のトピックとして日本の投票問題、女性差別問題、教育問題、経済問題などの日本の政治問題についてプレゼンしました。プレゼンの授業を通して感じたことは留学前に政治問題を学んだ事が留学で活用できたことです。よって留学前はニュースを見たり、プレゼンの授業を取ることを推奨します

基本的にグループワークが多くてコミュニケーションを取る機会がとても多かったです。

クラス人数、日本人と留学生比率、留学生の出身国などについて教えてください。

7人クラスで、日本人が5人、韓国人が1人、サウジアラビア人が1人だった。

最初は10。抜けていき、最後は4人。ほぼ日本人。韓国人、サウジアラビア人が一人ずつ。

授業は大体10～15人ぐらいのクラスでした。ですがどの授業も日本人がほとんどでした。たとえばリスニング&スピーキングの授業は日本人13人(外大8人、そのほかの大学が5人)、中国人4人、アルバニア人1人でした。他の授業にはトルコ人が2人いました。

クラス人数は1クラス10～15人ぐらいで、今回の留学では桜美林大学の生徒がいたため日本人はとても多かった。留学生はトルコ、サウジアラビア、インドネシア、アルバニア、中国の人がいた。

クラスの人数は10～15人程度。9割が日本人。中国人3名、トルコ人1名、アルバニア人1名。

クラス人数は大体20人前後で、7割日本人、サウジアラビア、トルコ、中国、アルバニアから来た留学生と共に授業を受けていた。

ニューヨーク州立大学オルバニー校の留学生はほとんど日本人でした。8割日本人、2割中国人、トルコ人、サウジアラビア人がいました。

私がいた大学のクラスでは日本人の生徒の方が多かったです。

クラスの雰囲気はどんなものでしたか。

和気あいあいとした雰囲気、先生との距離が近かった。

明るい。教師との距離が近くていい雰囲気。常にコミュニケーションをクラスメイトと取る。
基本的に母国語は禁止で、会話をしました。都市が少し離れている人もいましたが、みんな仲が良く、自分の国の話や文化を話しました。放課後に一緒にスポーツをしたりもしました。
関西外大のネイティブの先生の授業ととても似ていた。自由。
積極的に発言しないと授業に参加していないと捉えられる点が日本とは異なると感じた。
先生方が名指しで生徒を当てるとき以外は、誰かが積極的に発言するため、日本のクラスのように先生の問いかけに対して誰も答えないという状況はほぼないに等しかった。少人数のクラスだったこともあり、挙手しなくても気軽に発言することができた。
プレゼンやディベートのクラスが多く、自分で積極的に意見を発しないと成績ももらえないし、英語力も向上しません。逆にしっかり自分の意見を事前に考えて英語で発言していくと英語力も伸びるし、クラスにもなじめると思う。
先生や生徒全員が活発的でした。

授業の中で取り上げられたトピックで印象に残っているものは何ですか。
地球温暖化などの国際的な問題がトピックになることが多かった。
海洋汚染についてのプレゼン。銃規制についてのプレゼン。brain rules についてのプレゼン。
SDGsの授業です。今まで学んだことが無いトピックだったうえに、アメリカの問題を知ることができたので日本はどうなんだろうと、知りたくなりました。
SDGs。アメリカの SDGs事情を知らなかったので学んでみて面白かった。
SDGsの水不足問題についてである。
SDGs のクラスが一番楽しかった。小学生の頃から興味のある分野だったこともあり、日本の学校では習わなかったこと諸外国目線の環境問題対策、実際にアメリカで起きている問題を知ることができ勉強になった。またクラスメートの国の政治のあり方、特に中国人クラスメートが話す中国の政治については驚くことばかりであり、印象に残っている。
SDGsや政治問題社会問題について問われることが多かった。事前に政治問題、社会問題、SDGsを勉強しておいてよかったと思った。自分の国の政治問題に対して意見も言えないと恥ずかしい思いをする。
グローバルイシューについて学びました。

授業を受けるにあたって工夫していたこと、努力していたことはなんですか。
授業には毎回出席し、授業についていけるように積極的に発言を行った。
わからないところは聞かないと置いていかれるので、ちゃんと聞く。
先生の近くに座って先生とたくさん話すことです。
日本語を話さないこと。積極的に発言すること。先生とコミュニケーションをたくさん取ること。
最前列で授業を受けること。授業で必ず発言すること。単語ノートを作成し、分からない単語や表現はメモを取ること。
普段日常で使うがテストなどでは出ることのない英語の言い回しやフレーズを、先生方が発言するたびにリピートするのが楽しかった。また日本人にとって英語の発音は大きな課題であるため、できるだけ大きな声で何度もリピートすること、先生に積極的に発音を聞いてもらいにいった。
私が思うにはもしこの留学中の授業内で積極的に発言したり自ら行動をとらないと自身の英語のスピーキング力は向上しないだけでなく自分というものを外国人に表現できません。外国人、特にアメリカ人は日本人よりもはっきりと自分の意見を主張してきますのでそれに負けないようにしないといけません。授業中は何か発言できる期会やプレゼンできる期会があればとにかく手を挙げて前に出て人の前で発言していました。また絶対に前の席に座って先生とよく話しました。
理解しようとするのが最も大切だと思いました。

2. 滞在先・自由時間の過ごし方について

ホームステイメイトはいましたか。	ホームステイメイトはどこの国の人でしたか。
0人(2人)	-
1人(2人)	日本
2人(2人)	日本
3人(1人)	日本
4人(1人)	日本

通学手段	通学時間	主に食事はどこでとっていましたか。
バス(7人)	0~15分(2人)	ホームステイ先(6人)
	15~30分(2人)	
	60~75分(1人)	
	90分以上(2人)	
徒歩(1人)	0~15分(1人)	自炊(2人)

部屋に用意してあったものは何ですか。	自分で用意したものは何ですか。
テレビ、冷蔵庫、食料、シャワー、トイレ	昼食
机、ベッド、クローゼット、扇風機	特別なものは特になし。
ベッド、机、バスルーム、	消耗品類すべて、毛布、履物、洗面用具、タオルなど
ベッド、机、いす、タンス	スリッパ
ベッド・机・椅子	衛生用品(洗顔・歯ブラシ・タオルなど)・ドライヤー
ベッド、ハンガーやタンス、机、いす、ハンドソープ、鏡	シャンプーなど、バスタオル、毛布、洗濯用洗剤、スリッパ、
寝具、枕、ベッド、掛け布団、ティッシュ、ハンガー、バスタオル、	現地でコンタクト洗浄液、シャンプー、リンス、これらは持っていきべき
机、ベッド、テレビ、クローゼット	生活用品

ホームステイ生活をする上で、日本と違って戸惑ったこと、驚いたこと。
日本人と違って何でもダイレクトに伝えてくるところ。
洗濯の頻度、食事の内容や量がステイ先で大きく違うこと。同じプログラム内容で来ているのに何度もトラブルのせいでステイ先を変えないといけなかった人がいたり、通学に1時間半以上かかる人もいてかわいそうだった。
シャワーの使用時間が短いこと
土足で家に上がる前に必ず聞くこと、また雨の日は靴は脱いだ方が賢明。洗濯は日本のように毎日選択しない。またアメリカの場合、ほとんどの家が乾燥機を使うので洗濯物を干す習慣はない。水が買わないと飲めない
お風呂に毎日入らないこと。

ホームステイ生活を快適に過ごすためのアドバイスをお願いします。

ホストファミリーと会話し、改善してもらいたいことを伝えること。

家の仕組みとか聞いてみるといい。

ホストマザーとちゃんとコミュニケーションをとること、勘違いやちょっとした問題が大きくなって関係が悪化したりするから。怒られたらちゃんと謝る。

1週間から2週間ぐらい過ごせば慣れてくると思うこと。

一番言いたいことは「期待をするな！！！」ということだ。ホームステイは最低限の生活をさせてもらえる場所だと思った方がいいと思う。

自分で使う物は全て自分で用意することが前提で、ファミリーが用意してくれているかなという希望はあまり持たないこと。期待はするだけ後からがっかりすると思うのであまりせずに、ただ会話を楽しんだり、ファミリーの過去や趣味の話たくさん聞いて人柄を把握すること、誘われたらできる限り乗ること、我慢はせずに言にくいこともはっきり言えば(今日洗濯したい、今お腹がすいていない、今日は早く寝たい、など)分かってくれることの方が多かった。

食事の問題などのトラブルがありましたが、トラブルなどを通して学んだ事は自分の意見をはっきり明確に相手に言わないと相手は全く理解してくれないし、大きなトラブルにつながる可能性も出てきます。アメリカ人は特にはっきり言ってきます。なので自分の意志や嫌なことは NO とはっきり言わないと相手はわかってくれません。トラブルはありましたが、自分の意思をはっきり言ったことによってトラブルも早く解決することが出来ました。

現地の人たちになりきる。

パソコンは持参 しましたか	携帯電話	インターネットは部屋から 接続可能でしたか。	その際に費用は かかりましたか。
はい (8人)	日本から SIM カードを持参(6人)	ワイヤレスで可能 (7人)	はい(2人)
	日本で海外用携帯を購入・レンタルして持参(1人)	LAN ケーブル/ワイヤレス共に可能(1人)	いいえ(6人)
いいえ (0人)	日本の携帯をそのまま持参(1人)		

大学主催のプログラム/イベント/ボランティア/サークルなど。	学内/学校近辺でよく利用した施設やお店など
大学が主催するプログラムやイベントなどに参加した。	カフェなどに行ってみるなど
イベントがよく開催されているので参加したり、サークルに入ったり、大学内の playroom で遊んだり、運動したり。	学内にジムや学習スペースなどが完備されているため、学校内で過ごすことが多かった。
キャンパス内のジムに行ったり、スポーツ、ビリヤードなど	ブレイルーム。グラウンド。バスケ、テニスコート。
週一回の conversation club に毎週参加した。	クロスゲートモール
自由時間は友達と遊ぶ(卓球やバスケなど)・IELP では放課後や週末にハロウィンイベントや異文化交流イベント、NYC やボストン旅行があった。	近所のスターバックスやクロスゲッツモール、コロニーセンターというショッピングモールなどで外国人の友達と遊んだ。
大学主催のプログラムはほぼ全部参加した。特に現地学生と交流できるイベントや地域で開催されるイベントは知り合いや友達を見つける大チャンスだった。	大学のバスケコートでよくバスケをしていた。そこでバスケをしている人と 2on2をしたりして英語を話す環境を作っていた。
休日は気持ちを切り替えて同じ大学のアメリカの友達やクラス内の留学生とショッピングに行ったりしました。私のアメリカの友達や留学生の友達は日本の文化、特にアニメが好きだったのでアニメの店に行ったりお昼ご飯を食べながらアメリカの文化や日本の文化(を写真を使って共有したり)しました。クラスは日本人だらけなので UAlbany の JSA クラブで英語で交流したりして外国人の友達を休日の間に増やしました。	学校のジム施設、テニスコート、バスケコート、卓球コートはほぼ毎日使っていた。共用スペースのため現地の学生とシェアして使う。交代で使っているうちに一緒に試合をしたり、毎日顔を合わせて友達になった人もいた。また学校からバスで 10 分の場所に大きなスーパーとショッピングモールがあったため、学校帰りにそこによって昼食を調達していた。
バスケやテニスなどをして過ごす。	ダンキンドーナツ

3. 留学前準備について

留学前に取り組んだ準備
渡航に必要な書類を期限までにそろえた。予算をある程度決めておいた。
気持ちの切り替え。
オンライン英会話レッスン
よく使うフレーズを調べる
私の場合映画やドラマが好きだったのでアメリカで人気の作品を調べ日常的に見ていた。留学中、趣味の話になると映画やドラマ、またアニメや音楽の話は仲良くなるのにとってもいいトピックだった。
留学前にした事の一つは政治ボランティアやインターンシップに参加して日本の政治社会問題について学んだ事です。の若者は日本の若者以上に政治や社会問題に興味を持つ人が多く、留学の授業内でも社会問題について学ぶので今後留学に行く人は留学でのプレゼンや授業に備えるため、社会問題に対して自分の意見を主張するためにも日本の政治問題、社会問題を勉強すべきだと思います。もう一つは日本伝統文化について調べたり実際に経験したりしたことです。
英単語を覚える。

留学前にしておけばよかったと思う準備
自分が日常生活に必要なもので、アメリカで手に入らないものを調べておく。
今はわからないが、円安、物価高で金銭面が大打撃だったので、要らないかなーと思った物も取り敢えず持って行った方がいい。ヒートテックや大量の靴下。
オンライン英会話レッスンをもっとしておく。
英語に関する文法、単語以外の全てが足りなかった。
留学前から事前に調べて勉強していたので特になかった。
リスニング力をもっと鍛えるべきだった。

日本から持って行って役に立ったもの、または喜ばれたもの
爪切り、お菓子
お箸、寿司の漢字が書いた湯飲み。
シャンプートリートメントは持って行った方がいいと思う。ユニクロのウルトラライトダウン、おせんべいがすごく喜ばれた、100均の便利グッズ
カイロ、歯ブラシ、液体タイプの消毒液
ココロコ、しょうゆ、みそ汁
留学先で日本伝統文化イベントを催した事は喜ばれた。浴衣ではなく着物を着て日本の伝統文化を現地のアメリカ人大学生に対してイベントとして発表したことが現地の人に喜んでもらえた。自身の留学の目的であり目標であった着物、茶華道、歌舞伎、文楽、能などの日本伝統文化の魅力的な所を自身で計画したイベント内で多くの外国人に広めることが出来たととても嬉しかったです。
薬

日本から持っていく必要のなかったもの
シャンプー、ボディソープ、髭剃り
マスク

たくさんの服、靴
大量のマスク。バスにあるから。
日本食

日本から持参すればよかったと思ったもの
耳かき
ヒートテック、冬服、キャリーバック二個目
クリアファイルとか文房具
コンタクトレンズ液とシャンプーリンス。現地では高いしクオリティも悪い。

4. 留学費用について

お金をどのように準備しましたか。	日本円でいくぐらい準備しましたか。
クレジットカード、デビットカード	クレジットカード上限 30 万円、現金 100 ドル
ほぼクレジット	50 万円
クレジットカード、プリペイドカード、現金	現金は 300 ドル用意して、50 ドルくらいあまった。割り勘するときとかにつかった
現地で引き下ろせるカード、クレジットカード	現金5万円分、クレジットカード上限30万円分×2枚
VISA カードとマスターカード。マスターカードはキャッシュパスポートプラチナを利用した	クレジットカードに50万・現金5万。主にカード生活となるため、現金は1万円ほどで1ドル札、5ドル札、10ドル札で準備した方が良い。20ドル札、100ドル札は使う場面がないかつ大きい金額のためお店側から嫌がられる。マスターカードにはドルで入金すること。円安に悩まずにすむ。
クレジットカード 2 枚(1 枚は持ち歩かず保管)、プリペイドカード、現金	クレジットカード 50 万円、プリペイドカード 10 万円、現金 7 万円
ほとんどクレジットカード。現金は 2 万だけ使った。	クレジットカードでトータル 50 万使った。旅行費やお土産代含めるとかなりかかるので余裕をもって持っていくべき。

現地で支払った住居費と食費を教えてください。	テキスト代と通学費はそれぞれいくぐらいかかりましたか。
屋食代を月に 300 ドルほど	テキスト代 200 ドル、通学費は無料
100 ドルほどの食費。	50ドルほどの教科書。通学はただ。
屋ごはん代:約17万円	通学費無料、テキストは1万円ほど
15万ほど	テキスト代:約2万円、通学費:無料
食費に 5 万程度	テキスト代 2 万程度、通学費なし

旅行(大学主催以外)をした場合の期間、費用、行先、手配方法など
旅行費用は 100 ドル~300 ドル、バスや電車で移動した。
LA、NYC ニューヨークは片道 15 ドルで行ける。適当に歩くだけでも面白いし、何かやっている。LA は 10 万円あれば、1 週間遊べる。
expedia 使って自分で調べて飛行機やホテルは予約した。お金はすごくかかる
LA、2週間弱の休みの内の5日間、20万弱、すべて自分と友達で予約した

<p>セメスターの間は一週間の休みがあり、LA 旅行をした。費用は10万円ほど。Thanksgiving は五日間の休みがあり、テキサス旅行をした。費用は15万円ほど。</p>
<p>バスが学生無料だったので家にこもることはなく、毎週どこかにでかけていた。NYC はバスで 3 時間で着るので土日でも遊びに行ける。長い休みはロサンゼルスとモンリオール、ナイアガラの滝にかけた。費用は、円安だったこともあり 10-30 万はつかった。予約は全てネットでし、サイトの注意事項や確認のメールは英語だと見逃すため日本語訳が必須。</p>
<p>ニューヨークシティ旅行は 5 日間、ワシントン DC 旅行は 2 日間、エクスベディアでホテル予約、アムトラックで移動。</p>
<p>旅行の場合はネットを利用してチケットを取る。</p>

その他旅行や買い物など個人的費用は何にいくらぐらいかかりましたか。
20 万円ほど
30 万ほど
旅行は合計40万くらい。服、お土産とかで多分 10 万くらい
LA 旅行:約20万円、自分の買い物:約23万円
洋服や靴 7.8 万、お土産 5 万、旅費 50 万、SIM カード 1 万、通信費毎月6千円程度
トータル 50 万使った。旅行費やお土産代が主な割合を占める。

5. 学習面について

語学力・コミュニケーション能力の自己分析
<p>毎日英語で会話をしていたので、留学前よりも語学力やコミュニケーション能力は向上したと感じる。</p>
<p>4 技能全て向上したと感じる。日本に帰ってきてから初めて差に驚く。コミュニケーション能力も日本に帰ってきてから、アメリカ特有の知らない人でも普通に会話すると言ってところが日本でもできるようになっていると感じる。</p>
<p>リスニング力はあがった。文法などの知識はほとんど変わっていないと思う</p>
<p>リスニング力は上がったと思う。また、人と話すときにだれであれ良い意味で緊張感なく話せるようになったと思う。</p>
<p>コミュニケーション能力は格段に上がった。友達になりたいと思ったら、声をかけることができていた</p>
<p>まだ働くことや現地の学生と同じ授業を受けることは不可能だが、留学前と比べると確実に上達したと感じる。授業でもリスニングに困ることはなかったし、マザーや先生方の話も理解できて楽しめた。また学校でも家でも旅先でも、質問や許可の取り方の英語はたくさん使ったので覚えることができた。あとは早い英語の聞き取り、発音、独特な言い回し、適切なコロケーション、長く話す、10 分以上相手の話を聞き続ける、などが課題。</p>
<p>留学前は英語に自信がなくいつも話すことを恐れていました。また留学前の大学生活では怖くて無理にグループに入ろうとしたり、無理にと友達を作ろうとしたりで上手くコミュニケーションが出来ず泣いたりしていましたが、現地では沢山の外国人と友達になることが出来、英語というツールを通してコミュニケーション能力も上がったと思います。</p>
<p>知らない人に話しかけることが容易になった。</p>

留学前の目標とその達成度
<p>現地生との交流を深め、友達を作ることが目標であった。その目標は達成できた。</p>
<p>とにかく友達を作る。めちゃめちゃ友達出来た。</p>
<p>目標はとにかくたくさんの人とコミュニケーションをとることでした。現地に行ってみたら想像以上に日本人だらけで外国人とコミュニケーションをとるのがすごく難しかったです。ですが一緒にスポーツをしたり、ホストマザーにいろんな場所に連れて行ってもらったおかげでたくさんの人と話せたと思います。</p>
<p>ネイティブ並みに話せるようになりたかったがその目標は程遠かった。</p>

目標は語学力向上。想定よりも日本人学生が多かったため7割ほどの達成
留学前は漠然と日常会話をできるようになることが目標だった。相手の質問に答えたり、こちらから質問することはできるようになったが、エピソードトークや映画の感想を言ったり、頭では理解している文法を話すときも適切に使用すること(時制や三人称単数)が難しくマザーや先生方に直されることがあったのでまだまだ課題点が多かったと言える。
6年間の間のこの留学に対する目標は英語力向上だけでなく、積極性と挑戦心を身に着ける事、英語を使って外国人に日本の伝統文化の魅力を広めることでした。現地では沢山いた日本人とは絡まないようにし、活動的にアメリカ人や異国の留学生と交流したこと、授業内でも沢山発言したことが積極性を伸ばすことが出来ました。また自身で企画した日本文化イベントも先生方、アメリカでできた友達の協力のお陰で成功できました。イベントを自身で一から作成し、観客が楽しめるように考えて最終的に成功できたことが自身の積極性、挑戦心をさらに伸ばせたと思います。
友達を作る。80%達成

留学を通しての成長ポイント
積極的に発言することができるようになった。自信を持って英語を話せるようになった。
英語力、物怖じしない力、自立性、向上心、コミュニケーション能力、運動能力。
どんな場所でも一人で行動する自信がついたこと。地元の観光客にお店や電車を説明できたこと
なにごとにも楽しく取り組む能力。
人前でも恥じないこと、自己肯定感の向上
たくさんの人と関わって、海外の人だからこうという先入観や現地でのマナー、海外に抱いていた過度な期待や偏見を払拭することができた。まずは自分から行動することを心掛け、相手にどう思われるかを気にして我慢しすぎないこと、はっきり返事をする事、など内面に良い変化があった。またアメリカの多種多様さや個性の豊かさは一種族で生きる日本にはない刺激があり、私自身のアメリカに対する考え方が変わり、個性を出すことの素晴らしさを感じた。
この留学を通して英語力だけではなく自身の目標であった積極性や挑戦心を身に着けることができたり、日本文化を広めたりイベントを自ら企画する様な表現力が身につくことが出来たと思います。この留学を振り返って感じた中で私の強みや長所というのは留学を通して身につけた積極性だと思います。留学に行く前は自分自身でイベントを企画する事さえもできませんでした。留学経験を通して英語力が向上しただけでなく自身の積極性やイベントを企画したり日本伝統文化を紹介しようとする様な表現力や挑戦心が身につけることが出来ました。
誰にでも発言することができる。

留学前/留学中/留学後の語学学習に対するモチベーションの変化
留学前よりも英語学習に対する意識が高くなった。
留学前、めちゃめちゃ高い。留学中そこまで高くない。留学後めちゃめちゃ高い。留学中は自然と身に付いていくのでモチベーションが高いと言われてればそうではなく、生活を楽しむことへの重きが大きい。それに伴い、英語力がのびてくるという解釈のため。
留学前はもちろん英語を話せるようになりたいという気持ちはあったがそこまで本気で取り組んでいなかった。しかし、留学してみて、その気持ちはさらに強くなったし、また海外でなにかしたいと思ったのでモチベーションは高くなった。
留学前は英語を話せるようになりたというモチベーションだったが、今は英語で仕事をしたり、また英語以外の語学学習に取り組みたいと考えている。単語や文法などの知識に専念しがちだったが、スピーキング力に不足を感じたため、日本国内での勉強ではなく現地で英語力を向上させて糸言う思いが一層強くなった。
留学前は zoom でシンガポールの友達と協力し合ってお互い英語(相手は日本語)の練習をしていましたがなかなか自信が付きませんでした。というのも普段の日常が日本語だからだと思います。現地に行くとなんて英語の世界なので自分の努力次第で英語力を伸ばすことが出来ます。私も毎日絶対外国人と話すようにし日本人とはほとんど絡まないよにしました。そうすることで最初は相手の英語についていけなかった私が帰国前は普通に会話が出来ようになり、難しい話もできるようになりました。今では昔ほど恐れることなく話せると思います。

海外に対する不安がなくなった

留学中 100%力を振り絞った瞬間

飲食店で注文するときに注文の仕方がわからないことが多々あり、戸惑うことがあった。

サッカー中。常に100%でした。最高の瞬間。

プレゼンテーションで自分たちのビジネスを考えて発表したとき

100%ではないが毎回のプレゼンでは成功するように本気で頑張っていた。

プレゼンテーション

マーケティングの授業で、予告なしに自分の考えを 3 分間述べなければならない時があった。クラスで円になり一人ずつ話さなければならなかった。原稿も作れず、マーケティングの知識もなかったが、習った単語と笑顔で乗り切った。緊張して何度も同じことを言ってしまうのをごまかしたり、クラスメートと意見が被っているのを踏まえてさらに理由をつけ足したりすることが難しかった。

留学内で 100%の全力を振り絞った瞬間は英語を話す時、プレゼンの授業、日本文化のイベントです。留学の初めの頃はうまく英語が伝わらなくて、自分の企画したイベントが上手くいかなくて泣いて悔しい思いをしたり様々な困難があった。しかし何事にも絶対に諦めずに全力で取り組んだ事で留学成功へと導く事ができました。授業内で積極的に発言したり、アメリカ人の友達とお喋りしたりする事を通して留学最後の時には気がつけば恐れる物や英語に対する不安は無くなっていました。留学中、何事にも全力で取り組み失敗を恐れずに行動した事が積極性、挑戦心向上に繋がったのだと思います

現地の人と話す時

留学先大学の良かった点

充実した英語学習を行うことができる。

でかい。人数多い。多様性に富んでいる。 ニューヨークに近いからいろんな国の人がいる。

設備がたくさんある。フリーフードがよくある。ビリヤードや卓球を無料でできる。バスに無料で乗れる

色々な国の人達がいる。先生が優しく、熱い良い先生ばかり。

バスが学生証で無料

教室の窓や設計で景観が良く見えて光が入るので、学校のどこにいても明るかった。スポーツの大会は生徒ならば誰でも観戦することができ、スポーツ施設も充実していた。近くには大型のショッピングモールとスーパーがあり、ダウンタウンにもバス 1 本で行くことができた。NYC に行くバスも学校から行くことができ安心だった。先生方は本当に素晴らしい方ばかりで授業内容にも満足している。

留学プログラムの先生すべての人が親切でした。私の下手な英語も、ホームステイで困ったときも、日本文化イベントを催すときに苦戦していた時も IELP の留学の先生はフォローしてくれました。この先生方のサポートのお陰で何とか乗り切ることが出来ました。感謝の気持ちです。

先生が優しい